２０２７　年度　独立行政法人国立病院機構埼玉病院　（病床数　５５０）【1年次】

受入人数	【1年次】2名

常勤・非常勤	研修手当						勤務時間	休暇				当直/月	宿舎	社会保険・労働保険等
	基本手当		賞与		時間外	休日		有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
常勤	301,700		無		有	有	平日8:30～17:15	23		有	有	4～5回	有 （希望者多数の場合、入居できないことあり）	第二共済組合・厚生年金・雇用保険・労災加入

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
内科	当院の内科研修は、必修診療科と選択診療科で構成されております。 ・必修診療科：消化器内科/循環器内科/呼吸器内科/総合診療科 ・選択診療科：血液・膠原病内科/腎臓内科/脳神経内科/糖尿病内科より1科を選択（研修期間：4週間）
救急科	救急医療チームに参加して内科（肺炎、心筋梗塞等）、外科（胆のう炎、虫垂炎、イレウス等の急性腹症）、脳外科（脳卒中、頭部外傷）、整形外科（骨折）の幅広い知識を再確認するとともに実際に経験し、救急初期診療をみんなで勉強しましょう。 心肺停止の診療、状況によりwalk inの患者も診察します。大学病院とは違った、地域の3次救急の現場を体験してください。
外科	外科は、悪性疾患を中心に良性や緊急を含め年間約850件の手術を行っています。がん診療拠点病院として、根治性を追求した拡大手術や低侵襲なロボット支援手術、鏡視下手術に注力するとともに、内視鏡検査、化学療法、緩和ケアに至るまで、幅広い臨床に携わっています。特に食道癌や肝胆膵疾患などの高難度手術症例が多く、専門性高い医療に取り組んでいます。
小児科	小児科は、小児救急、NICUに力を入れ、病床は一般40床、NICU 12床です。地域唯一の小児救急受け入れ病院のため年間6,000例程度の救急患者さんを受け入れています。研修期間中には小児科当直もありますので、ファーストタッチから病棟での治療までの研修が可能です。
産婦人科	埼玉病院の産婦人科は、以前から婦人科腫瘍を中心とした病院で、年間約100例ほどの新規婦人科浸潤癌症例を治療しています。内視鏡手術も年間250例おこなっています。また、分娩は平成22年1月の新棟移転以来、年間約700件を取り扱っています。正常分娩からハイリスク妊婦まで幅広く対応し、併設しているNICUと連携し可能な限りの母体搬送も埼玉県全域から受け入れています。
精神科	2年目に慶應義塾大学病院で研修する。
一般外来	総合診療科、小児科で研修します。

必修科目の研修ができない場合、選択可能な診療科

○研修アピール
埼玉病院は、2018年11月に新館が完成し、550床の病院となりました。
2021年5月から埼玉県で10番目の救命救急センターの指定をうけ、救急医療体制が充実しています。
手術室が増設され、20名の麻酔科医のもと年間6,000件以上の手術が行われています。
小児科は年間8,000例の救急症例を受け入れる地域唯一の小児の二次医療機関です。
周産期部門は、地域周産期母子医療センターで、産科病棟40床、MFICU 6床、NICU 12床、GCU 15床と充実しています。婦人科では、腹腔鏡を含め多くの手術が行われています。選択科目では、全てがそろう外科系診療科を選択して研修することが可能です。
このような地域の中核病院で一緒に頑張りませんか。

○研修医からのメッセージ
温かい雰囲気と研修医が主体的に働ける環境、これが当院の魅力です。研修医になると初めてのことが溢れていますが、丁寧なフィードバックをくださる先生方のもと、日々多くの学びを得られます。
また、当院では1年目と2年目の研修医で内科当直を担当します。たくさんの症例、手技を経験できるうえ、その際も先輩方がしっかり指導してくれるため、日々成長を実感しています。
楽しくもときに忙しい、充実した2年間を送れる環境が埼玉病院にはあります。一度その雰囲気を感じにいらしてください！

以下、慶應義塾大学病院から研修医への注意事項
・外科研修はその他の外科系の診療科への振り替えは認めません。
・必修科目がある病院では、必ず必修科目を研修してください。振り替えは認めません。

研修実施責任者　副院長　上牧 勇

※問い合わせ先
担当部署・担当者名：　臨床研修センター　栗崎沙亜姫
住所：　埼玉県和光市諏訪2-1
TEL：　048-462-1101
E-mail：209-isikensyukengaku@mail.hosp.go.jp